

【報道関係各位】

2021年4月15日
一般財団法人 日本気象協会

2021年桜開花予想(第9回)

桜前線は青森まで到達 早くも今週中には北海道で開花か

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本全国 87 地点の桜[ソメイヨシノ ほか]の開花予想(第9回)を、2021年4月15日(木)に発表します。

■2021年開花予想前線図



青森・弘前市 弘前公園(4月14日撮影)
14日に開花となりました。昭和22年からの記録上、2番目の早さとなります。明日は朝から晴れて暖くなるため、満開に向けて一気に加速するでしょう。
(写真:弘前市都市整備部公園緑地課提供)



北海道・松前町 松前公園(4月12日撮影)
たっぷりの日差しを浴びて、色鮮やかなピンク色のつぼみが顔を出しています。まもなく北海道にも春がやってきそうです。



■2021年 開花予想日・満開予想日(主な地点)

開花日

	地点	予想日	傾向	平年開花日	2020年	最も早い開花日
鹿児島県	鹿児島市	[3月17日]	かなり早い	3月26日	4月1日	3月15日(2013年)
福岡県	福岡市	[3月12日]	かなり早い	3月23日	3月21日	3月12日(2021年)
高知県	高知市	[3月15日]	かなり早い	3月22日	3月24日	3月10日(2010年)
広島県	広島市	[3月11日]	かなり早い	3月27日	3月22日	3月11日(2021年)
大阪府	大阪市	[3月19日]	かなり早い	3月28日	3月23日	3月19日(2021年)
愛知県	名古屋市	[3月17日]	かなり早い	3月26日	3月22日	3月17日(1990,1989,2021年)
東京都	千代田区	[3月14日]	かなり早い	3月26日	3月14日	3月14日(2020,2021年)
長野県	長野市	[3月29日]	かなり早い	4月13日	4月2日	3月29日(2021年)
新潟県	新潟市	[3月29日]	かなり早い	4月9日	4月1日	3月29日(2021年)
石川県	金沢市	[3月23日]	かなり早い	4月4日	3月26日	3月23日(2021年)
宮城県	仙台市	[3月28日]	かなり早い	4月11日	3月28日	3月28日(2020,2021年)
秋田県	秋田市	[4月4日]	かなり早い	4月18日	4月8日	4月4日(2021年)
青森県	青森市	[4月13日]	かなり早い	4月24日	4月17日	4月13日(2021年)
北海道	札幌市	4月23日	かなり早い	5月3日	4月30日	4月21日(2008年)
北海道	釧路市	5月9日	かなり早い	5月17日	5月10日	5月6日(2015年)

満開日

	地点	予想日	傾向	平年満開日	2020年	最も早い満開日
鹿児島県	鹿児島市	[3月30日]	早い	4月4日	4月19日	3月26日(2013年)
福岡県	福岡市	[3月22日]	かなり早い	4月1日	4月2日	3月22日(2013,2021年)
高知県	高知市	[3月23日]	かなり早い	3月30日	4月2日	3月19日(2018年)
広島県	広島市	[3月25日]	かなり早い	4月4日	4月3日	3月25日(2021年)
大阪府	大阪市	[3月28日]	かなり早い	4月5日	4月3日	3月26日(2018年)
愛知県	名古屋市	[3月28日]	早い	4月3日	4月1日	3月27日(1990,2018年)
東京都	千代田区	[3月22日]	かなり早い	4月3日	3月22日	3月21日(2002年)
長野県	長野市	[4月1日]	かなり早い	4月17日	4月13日	4月1日(2021年)
新潟県	新潟市	[3月31日]	かなり早い	4月14日	4月7日	3月31日(2021年)
石川県	金沢市	[3月29日]	かなり早い	4月10日	4月1日	3月29日(2021年)
宮城県	仙台市	[3月31日]	かなり早い	4月16日	4月3日	3月31日(2021年)
秋田県	秋田市	[4月7日]	かなり早い	4月22日	4月15日	4月7日(2021年)
青森県	青森市	4月18日	かなり早い	4月29日	4月21日	4月16日(2002年)
北海道	札幌市	4月26日	かなり早い	5月7日	5月2日	4月25日(2002,2008年)
北海道	釧路市	5月13日	かなり早い	5月20日	5月13日	5月8日(2015年)

※予想日の[]はすでに開花、満開になった地点です ※()内の年はおおむね過去30年の最も早い開花日、満開日です

■開花と満開の傾向

4月に入ってから、桜前線は速いスピードで北上しています。2日に山形、4日に秋田、9日に盛岡、13日には青森で開花し、この4地点はすべて最早記録となりました(盛岡はタイ記録)。この後、北海道の松前では16日に開花する予想で早くも北の大地へ桜前線は到達するでしょう。21日に函館、23日には札幌で開花見込みです。

また、開花から満開までにかかる日数は、平年並みのところが多いでしょう。この日数は、北に行くほど短くなる傾向があり、平年値で見ると、東北地方は5日間、北海道は3日間程度のところが多くなっています。13日に開花した青森でも、今週末には満開となる見込みです。

今週は、13日から14日にかけて前線が通過して全国的に雨が降りました。また、週末にも低気圧が近づいて雨が降る見込みです。この雨の後は、大きな気温上昇とはならないものの気温が平年並みか高く経過するため、北海道の各地で平年よりかなり早く開花するでしょう。



- ※ 桜の開花・満開の統計開始は1953年
- ※ 気温の統計開始は1946/47年
- ※ 気温が高い場合、元々温暖な地域は現在より開花が遅れ、元々寒冷な地域は現在より開花が早まる傾向があります

全87地点の桜の開花予想日はこちら：<https://tenki.jp/sakura/expectation/>

【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

- かなり早い : 平年より7日以上早い
- 早い : 平年より3日から6日早い
- 平年並 : 平年との差が2日以内
- 遅い : 平年より3日から6日遅い
- かなり遅い : 平年より7日以上遅い



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1:桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1:以下の日程を予定しています。2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第1回 1月28日(木)	第2回 2月10日(水)	第3回 2月25日(木)	第4回 3月4日(木)
第5回 3月11日(木)	第6回 3月18日(木)	第7回 3月25日(木)	第8回 4月1日(木)
第9回 4月15日(木)	第10回 4月28日(水)		

Q2:開花日・満開日の基準は？

A2:気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた(枝ではなく幹や根から咲く花は5～6輪に含めない)状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態(同時に咲いている状態である必要はない)となった最初の日です。

Q3:予想する地点数は？

A3:2月中は49地点、3月以降は全国で87地点の予想を発表します。予想地点87地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる34地点となります。

Q4:日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4:花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で15年目の取り組みです。

Q5:開花予想に使うデータは？

A5:以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。